

平和主義？

—なぜ人は切れるのか？ 通り魔殺人と善悪中毒—



東郷 潤



僕は、平和主義者です。

戦争は、悪いことです。

人と人が戦うなんて、

どんな理由があっても、

決して許されることではありません。

ある日のことです。



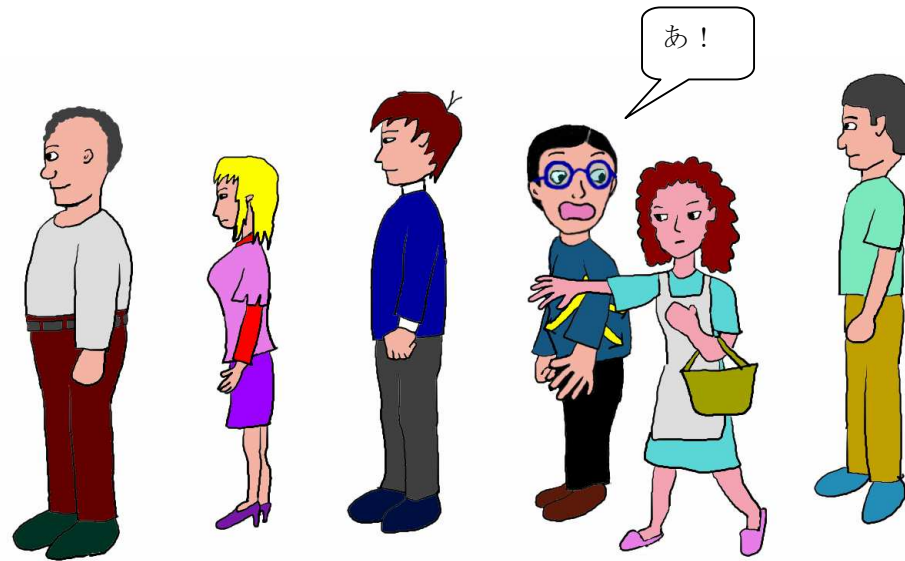
教室で僕の椅子に、画鋲が置いてありました。あの子たちの仕業です。

うんと腹が立ちましたが、怒ったら争いになってしまいます。それは正しいことではありません。



ぐっと我慢しました。

ある日のことです。



列に並んでいたら、割り込みをされました。



注意をしても無視されました。

うんと腹が立ちましたが、強く言えば争いになります。争いは戦争の元です。平和は個人の心から生まれるものです。



ぐっと我慢しました。

ある日のことです。



知り合いにお金を貸しました。



けれど、いつまでたっても返してはくれませんでした。

うんと腹が立ちましたが、怒ったら、喧嘩になってしまいます。喧嘩は危険です。それに、許すことが何より大切なのです。

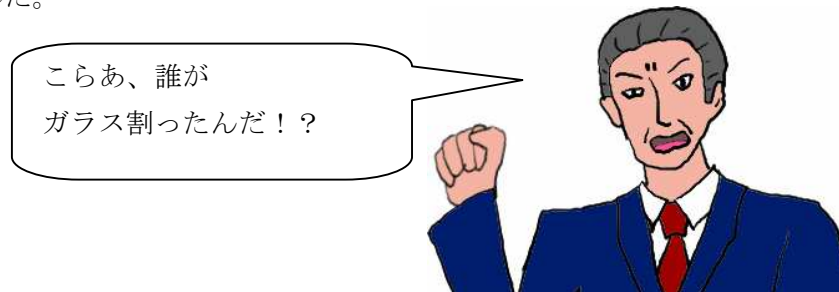


ぐっと我慢しました。

ある日のことです。



教室で、クラスの子がガラスを割ってしまいました。



先生が現れました。



みんなが一斉に僕を指差しました。



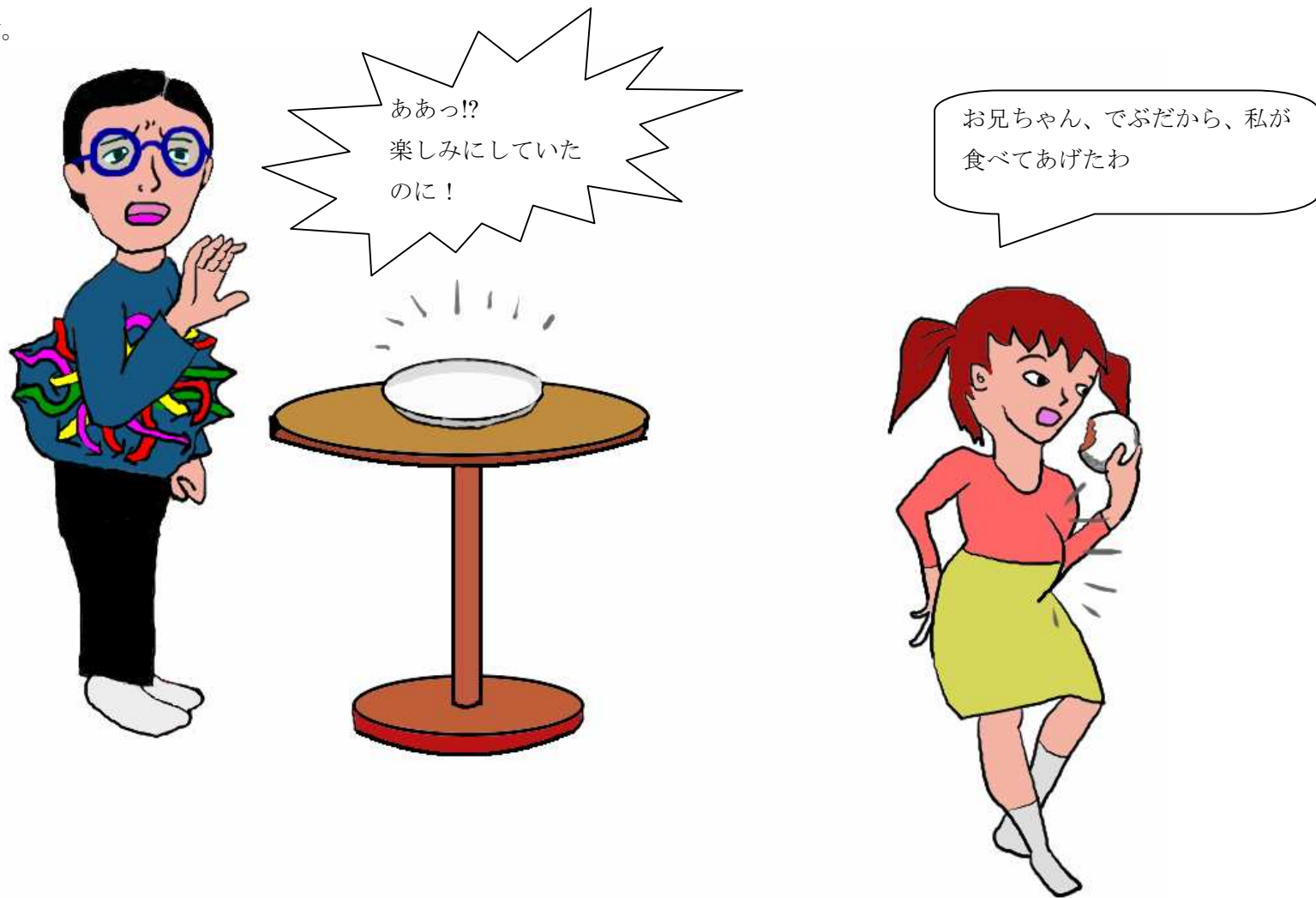
結局、僕は先生にこっぴどく叱られたのです。

うんと腹が立ちましたが、怒ったら、争いになります。争いは悪いことです。争いを避ければ、誰も傷つかず、安全なのです。



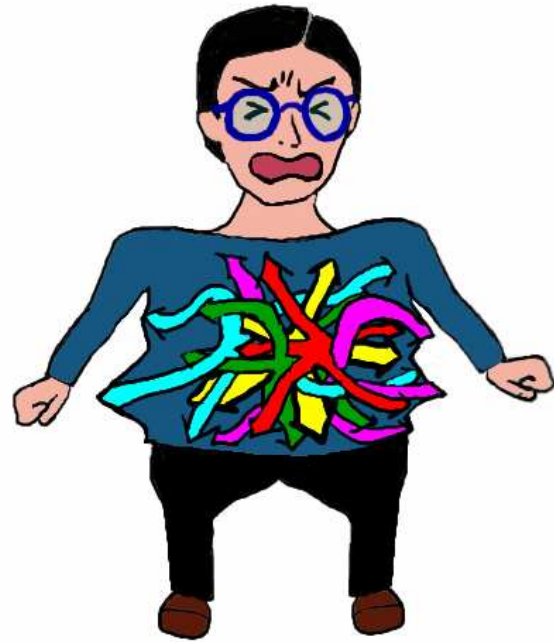
ぐっと我慢しました。

ある日のことです。



妹にお菓子を全部、食べられちゃいました。

うんと腹が立ちましたが、怒るのはいけないことです。こんな些細なことで怒って、妹に軽蔑されたくもありません。

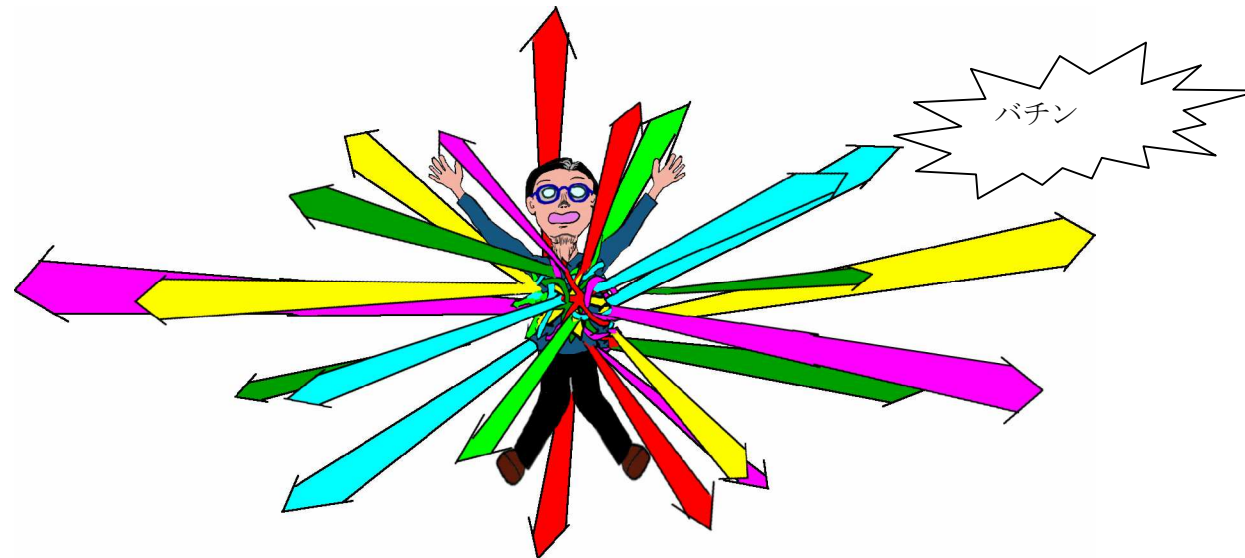


ぐっと我慢しました。

ある日のことです。



傘が無いのに雨が降ってきたのです。



ねえ、君。

怒りは自然な感情。

発散しなければ、どんどんとたまり続けるよ。

・・・そして彼みたいに、いつか破裂しちゃうよ。

だから、怒って！

みんな、殺してやるー！



あとがき ー絵本「平和主義？」

善悪という言葉／考え方をめぐっては、本当に様々な錯覚が存在しています。

そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、下記WEBの絵本集、弊著「善悪中毒」、「原爆への復讐」をご参照ください)

本絵本はそうした悲劇を地球上から無くしていくという目的で執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org